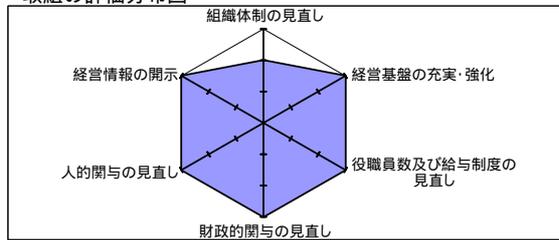


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	ある程度達成している。
経営基盤の充実・強化	十分達成している
役職員数及び給与制度の見直し	十分達成している
財政的関与の見直し	十分達成している
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	十分達成している

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: ある程度達成している。】

近年の公益法人運営に関する環境変化に対応して、職員の資質向上を図り、将来の統合への意識醸成のため、職員を研修に参加させた。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: 十分達成している】

基本財産の72%に相当する16億円を国債運用し、さらに少しでも有利な運用のために国債に買い替えることで、17年度の運用利率は計画を上回る1.834%を達成した。

(3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: 十分達成している】

計画どおり、常勤役員の数及び報酬を凍結、職員のベースアップの凍結と、定期昇給幅の1/3カットを実施している。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

県からの補助は、放流効果の把握調査の委託と、受益範囲が複数県以上に広いトラフグの放流効果把握調査に用いる種苗代のみで、事業規模の放流については、種苗代の県費補助は全く行われていない。今後も、県からの補助については、民間で同種の事業を行っている企業はないことから、事業費や放流効果について絶えず検証を行いながら、継続していくこととする。

(2) 人的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

栽培漁業の推進に当たって必要な最小限度の1名としている。

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

従来の県ホームページ上での財務諸表の公開に加えて、18年6月の理事会において情報公開規程を制定した。

4 総合的評価

いずれの項目においても、ほぼ計画を達成し、さらに17年度の運用利率は1.834%を達成するなど、経営基盤の改善は計画以上に進んでいる。